

# タンネウシ



## ロビー展「大地からのメッセージ ——野生の生命の記録」

斜里および北海道内を中心に、自然やそこでたくましく生きる野生の動植物の写真と動画、そして知床に住む野生動物の骨格標本を展示します。これらは朱円在住の能勢峰・理恵夫妻による作品です。

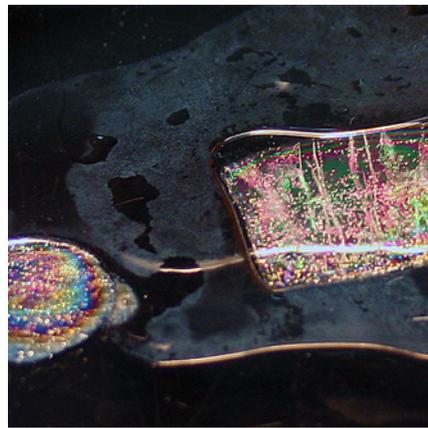
夫妻からは「自然が大好きで、斜里に移住して約10年になります。その間たくさんの野山を散策し、懸命に生きる命の輝きに心から魅了されてきました。自然との出会いは一期一会。いつも新たな発見と感動をもらっています。いま、同じ時を生きる彼らのことにも思いを馳せていただけたらうれしいです。」とコメントが寄せられています。▶会期：2月2日(日)～3月1日(日)▶会場：交流記念館ロビー▶観覧無料



## 流水の結晶観察会

流水はどのようにして海で作られたのでしょうか？ つららや湖の氷との違いは？ 前浜で流水をノコギリで切り、硬さを体験します。また電熱

器の熱で薄くしてから偏光板で結晶の様子を観察します。雪の結晶のレプリカも顕微鏡で見ます。▶日時：2月29日(土) 9:30～11:30▶場所：博物館集合、解散▶定員：7名(小学生以上、要申込み)▶参加費：高校生以上200円(協力会会員無料)▶持ち物：長靴、寒くない服装▶講師：合地信生(学芸員)



## 講演会「狸雑学——昔から人の近くで暮らしてきた動物」

「けものへんにさと」と書くタヌキ。昔から日本人の身近に住んでいる動物です。どんなものを食べているの？ 苦手なものはあるの？ 外国にもいるの？ 子どもはどうやって育てるの？ 本当に人をばかすの？

狸の島である四国からやってきたタヌキ博士が、その疑問に答えます！▶日時：3月28日(土) 18:00～19:30(要申込み)▶会場：知床博物館2F映像展示室▶講師：谷地森秀二(横倉山自然の森博物館)

## ワークショップ「タヌキの体を調べよう」

交通事故などで博物館に收容されたタヌキの死がい調査を体験します。体の各部の長さを測ったり、研究用サンプルを採集したりします。また、開腹して内臓を観察し、骨格標本作成のための除肉作業を体験します。

▶このワークショップでは動物のおなかを開きます。途中退室は可能ですが、苦手な方はご注意ください。▶

日時：3月28日(土) 10:00～15:00(昼に1時間休憩)▶定員：15名(小学4年生以上、要申込み)▶持ち物：汚れてもよい服装(血液などがつく恐れがあります。)、昼食、飲み物(外出しても結構です)▶講師：谷地森秀二(横倉山自然の森博物館)

## 学芸員のイチオシ



小泉八雲『怪談』 P.L. ハーン(1850-1904)の最も有名な著作でしょう。学生の頃に訳書を読み、描かれた日本のむせかえる濃厚さに心が震えました。それは旅人、他所者の目線でした。抽出できなかった日本文化のエッセンスであったはず。平井呈一の名訳で。(内田)

休館日 2月の休館日は3、10、17、24(月)と11(火・祝)、23日(日・祝)です

編集後記 旧役場庁舎にNHK札幌が流水カメラを設置しました。この号がお手元に届く頃には流水初日を迎えているでしょうか(暁)